

十五年前のあの日

星山直人(朝旦)



少年時代の星山さん

私は小学校の三年生まで普通町にある当時の木造官舎に、家族四人で住んでいた。豆電球一つ、便所、離れた風呂場、冬には外からの隙間風、夏にはあぶらぜみのオーケストラ。線路沿いにあった私の家は、いつの日もサイレンや電車の音で時間の流れを感じていたような気がする。

今、私は二十三歳。様々な経験、ふれあいを重ねた成長の裏側では、どうしても「汚れた心」「不純さ」というものも、育つてしまっているようだ。本当の

笑顔より作り笑顔の方が多くなっている自分に頭を垂れた時、「あの頃は嬉しさや楽しさを純粋に感じていたなあ。」と、つい老いばれ口調で話してしま

しでも近づけるよう、十五年前のあの日の「心」を思い出し、今を突きぬけていきたい。

このバトンを古田の渡辺俊明さんにリレーします。

編集室から

マあけましておめでとござい。今号から紙面を少し様変わりさせて広報をお届けします。マ広報にいつがスタートして今年で四十四年目。人間でいえば四熟味を増す年齢といえますが、この一年、広報にいつどんな味を出していけばいいのか……、担当者三人で頭を悩めながら、紙面を埋めていきたいと思っておりますので、今後お願いいたします。(一)

新津の文化財⑬

奈良三彩(考古資料)

保管・管理 新津市

平成4年に発見された奈良三彩は高さ4.9寸、口径4.5寸、胴径8寸、底径5.2寸の小壺で、主に祭祀や仏事に用いるために、平城京で造られたものといわれています。

この壺は、上浦遺跡(新津市工業団地内)の発掘を行ったとき、100ほど離れた2か所から出土し、全体の2分の1から3分の1ほど遺存していたものを修復しました。壺の素地は水色された白色緻密な胎土で、表面は淡い橙色を帯び、焼き上がりがよく、緑・黄褐・白の釉薬が光沢のある発色を見せています。なお、上浦遺跡からは奈良三彩のほか、9世紀中頃の大形掘立柱建物や総柱倉庫、井戸、鳥などが出土され、当時の有力な豪族の屋敷があったものと考えられます。



新津市の人口

男	32,346 (+16)	11月30日現在 (内)は前月比
女	34,678 (+9)	
計	67,024 (+25)	
世帯数	19,412 (+26)	
11月中の動き		
出生	35	死亡 96
転出	108	転入 134
	結婚 44	離婚 3

—お買物、ご用命は市内で—

新年のごあいさつを申し上げます

ことしもよろしくお願ひ
致します。



コーヒー祭り 100g - 300円
1月は5日(金)・6日(土)・7日(日)の3日間



ケーキとコーヒーの店
にいつ **オ・サカヤ**
本町2 ☎22-0112